賢治

信之

④ 鈴木

⑧草山

基祥

## 令 年度 港北消防団辞令交付式

## 第63号

編集

が改選しました。 防団本部十人中七人、各分団長八人中六人 <mark>令和二</mark>年度港北消防団幹部

本年度は四年に一度の改選期に当たり消

写真掲載につい

て

続きまして、

各分団長の氏名を記載し

11)

伊藤

弘

(第一分団長:旧役職

第

すべての受講終了後、

副分団長)

## 令和2年10月1日

横浜市港北消防団



会議室を利用し、

四階第一·第二 月八日港北区役

は全員参加での開催を変更し、団長以下本

ます。

旧役職を記載するとともに顔写真を掲載し

14)

黒川

(第四分団長

旧役

職

第

聞くことが出来ました。

二副分団長)

四副分団長)

**13**) (12)

吉田

亙 樂

(第三分団長:旧役職

第

(第二分団長:留任)

今号では新体制の幹部団員の氏名及び新

始めに、消防団長以下消防団本部の氏名

**15**)

田辺

惠通

(第五分団長:旧役職

第

タビュー内容及びアンケー ともに、新任団員の声として代 (港北消防署内)

10 98 7 6 4 ⑩中村 剛 ① 伊藤 一弘 ⑫ 廣井 徳榮 (5) 公 中村 草山 齋藤 羽鳥 鈴木

恵子

今号では辞令交付式の様子を掲載します。 ② 内 山 3 石川 賢治 秀信 (消防副団長:旧役職

本部

康子(第八分団長:留任

染症予防及び密閉・密集・密接を避ける三

辞令交付式の開催が危ぶまれましたが、感 種行事が軒並み中止発表され、令和二年度

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い各

部役員及び、

各分団長のみの参加にて実施

① 飯 田

孝彦

(消防団長:留任)

(16)

山本

忠夫

(第六分団長:

旧役職

第

なお、アンケー

ト内容は順不同にて掲載

ハ副分団長)

五副分団長)

本部

17)

中

Ш

勉

(第七分団長

職

第

七副分団長)

しました。

密対策やアルコー

消毒などの感染

症予防対策を講じ

令和二年

基祥 (消防副団長:旧役職 (消防副団長:旧役職 部長)

勝実 (本部部長:旧役職 第 本部 一分

(本部部長: 置

(本部部長:旧役職 (本部部長: (本部部長:旧役職 置 第四分 第三分 の行事とともに実施延期を余儀なくされま 施しておりました消防団員新任研修会も他

惠子

公

(本部部長:旧役職 第七分

三密対策や感染症予防対策

たことにより、 する運びになりました。例 を講じた中で研修会を開催 一十二人の受講者を合計さ その後、五月下旬緊急事態宣言解除され 会を人数に上限を設け、

りましたが、当日

だり総勢百二十二 度の改選期に当

本年度は四年に 催しました。

剛 忠夫





孝彦

勝実

① 飯田

⑤ 羽鳥

9 嶋村

吉田

リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へ リサイクルできます。

② 内山

⑥ 田川

秀信

博幸

③ 石川

⑦ 齋藤







回に分けて研修会を開催







急事態宣言発令により、例年四月下旬に実 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊

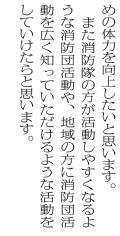
とが入団を決める動機になりまれ る何かを行っていたいと常々思 を行っている姿に憧れを感じていたことと、 のころよく見ていたことがきっかけです。 **消防団活動を通じて地域との繋が** 入団をするにあたり、父親が消防団活動 っていたこ ナこ 0



団したい

きっかけは、私の父 親が以前港北消防団 今回私が消防団に入 に在籍し と思った ていた時、

地域の様々な行事で活動している姿を子供 かりを持て ことを何か行いたいと思ったからです。 た動機になりました。 身を守りたいと思ったことが入団を決め 災害から家族を守るだけでなく私自身の また私自身も子育てを行っている中で、 今後の抱負は、消防団員活動を行うた





になりました。

入団の決め手として、地域のためになる

防団の活動を見たりしたことがきっかけ



活動していた消防

覚と地域貢献への意欲が増したという声を はじめとした先輩団員による式 に用いる訓練礼式の指導を行い 人ひとりに修了証を手渡しまり この研修を通して、消防団員としての自 飯田団 ました。 典•訓練等 た。 長より団員 ます。 誰かのヒーローになれるように頑張ってい 手島 今後の抱負は災害など何かあった時に、

きたいと思いますので、よろしくお願いし

# 恵梨花(第八分団第二班)

今回私が港北消防団

に入団したいと思っ

行事(餅つき)の際、 たきっかけは、地域

港北消防団ホームページ https://www.city.yokohama.lq.jp/shobo/shouboudan/05-14.html 元悟

裕樹

義幸

丈士

福美

緬

集

第七分団の西山

です。今和

な病原菌が現れる恐れも考えられます。

社会の中でウイルスから身を守るために新

4 岡部

⑩ 坂田

16 室越

② 坂倉

28 児玉

武

悠樹

望

貴文

⑤ 加藤

① 長野

⑰ 阿部

23 藤澤

寛章

航

浩樹

信

新任研修会修了者氏名

15

第四分団第2班

## (12) $\bigcirc$ (10) 9 8 7 6 (5) 4 3 2 第二分団第4班 第二分団第3班 第二分団第3班 第一分団第3班 第二分団第5班 第二分団第5班 第二分団第5班 第二分団第3班 第二分団第2班 第一分団第1 |分団第5班 岡部 長野 坂田 岡島 伊藤 佐藤 水 野 加藤 近藤 手嶋 徹哉 哲哉 隆文 哲也 裕樹 寛章 元悟 武 27) 22 26 25 24) 23 21) 20 19 (18)

班

宮田

班

田丸

## 第三分団第6班 第三分団第4班 第二分団第5班 班 ⑥ 水野 隆文 堀田昌太郎 大泉 浩司 摩周 30 29 28 17) 16 新横浜班 新横浜班 第八分団第4班 第七分団第7班 第七分団第4班 第六分団第7班 第六分団第7班 第六分団第7 第六分団第2班 第八分団 第七分団第3班 第六分団 第六分団第4 第六分団第4班 第六分団第3班 ⑫ 堀田 昌太郎 第4班

(14) (13)

## 新任研修会アンケー 今回新任団員の方々に、研修終了後アン

室越

望

阿部

浩樹

促進につなげるための一助として活用いた この内容については今後消防団員の入団

なお、以下の項目ごとにアンケートの 会社の社長にすすめられたことです。 いるため。

藤澤 坂倉 大倉

信

貴 文 丈士 和浩 正和 耕二

覧を掲載いたします。

町内会行事参加の際、 先輩方から説明で知

・学校への消防団員の勧誘

た際に知りました。

母親が入団しているため

いを頂いたため。

所属会社からの勧め

## 卜

・入団募集のチラシを見て

知人が入団しているため

近所の消防団員の熱烈な勧誘を受けて

トを実施いたしました。 地域の方々の活動を見て知りました。

## ①入団経緯(どのような経緯で港 北消防団を知りましたか)

地域や家族の活動を見て

現団員の方から勧誘

良文 和広

・父親が消防団に入っていたので

広野 秋元 飯嶌

福美 貴士

以前から地域の活動としてお誘いを受けて

## 郁雄



24 飯嶌 和広

18 田丸

耕二

29 種村 泰

裕子 グで入団を決めました ていて、子供が幼稚園に入ったタイミン

街のために何かしてみたいと思い入団しま LPガスについての知識を現場で生かしたい。 地域貢献のため、日々からお世話になって いる地元の方々へ何かできることはない

・先輩が定年で辞められるので。 地域の安全

入団前に団員の方とお話しして皆さんが親 父親が消防団を退団したため 切だったから。

活動を通じて、地域貢献を果していくとと 活動を通じて、少しでもボランティアや地域 もに、団員間の交流を深めたいため。

的にも興味を持っていたため。 を知ることが出来るから。また前職にお 新横浜に本社を置く企業として地域の状況 いて消防署の方々と関わりもあり、 **真献ができればと思い、希望しました。** 個人

れ、その時には中国の感染がどこまで拡がるだ

ろうか?日本に感染者が渡航して来ても空港で

抑え込みを期待していましたが、感染は世界的

成させていただきました。

コロナウイルスが昨年十二月にこ

ユースに流

峯岸 窪倉 齋藤

義孝

小泉

守

委

う港北消防団幹部団員及び新入団員

見の紹介で構

六十三号は消防団活動が少ない中、

目粛になり、会議等も中止なってい

る状況です。

もしれません。

改選期に伴

本

部部

信之

(編集委員長)

敏

基祥

(編集顧問)

の影響で消防団活動の多くが て頂きます。コロナウイルス 一年度の編集委員を務めさせ

後、消防団活動も少しずつ変化していくのか たな生活スタイルに変化していくと共に、今

② 手嶋

8 伊藤

⑭ 髙橋

20 宮田

26 広野

哲也

徹哉

浩司

和浩

貴士

③ 近藤

9 岡島

15 座間

21) 大倉

② 小出

① 岩田

⑦ 佐藤

13 大泉

19 豊田

25 秋元

地域貢献、地域防災(地域に親族等が多いため)

以前より地域活動に興味があり、

頂

えています。また温暖化による永久

そこから過去に流行したウイ

ルスや新た

規模に拡がり社会の色々な所に大き

な打撃を与

22 期

長瀬 酒井 鈴木

夫 誠 智

第五分団 第四分団 第三分団 第二分団 第一分団

凍土が溶け

第七分団 第六分団

一清

哲哉

摩周

正和

良文

② 入団動機(入団の決め手は何で 他県の消防団に加入している友人より すか)

周囲の勧誘の熱意に入団を決意 仕事が変わって時間に余裕ができた。

・地域の活動には積極的に参加したいと思っ 掛けていただいた 町内の消防団員の方から声を

足手まといにならないよう 動を頑張りたいと思います。 に頑張ります。

・地域防災に努めていきたい ・地域の安全安心に貢献する。 ・右も左もわかりませんが地 頑張っていきます 域のために活動できるよう

地域活動に貢献して行きた

・地域の方とのお付き合いの中で入団を勧め ・知人(消防団員)からの勧め。 昨年度の健民祭後の懇親会の際、消防団活 通っている学校に防災訓練を行ってもらっ 動について教えていただき、 事業所消防団の案内があったため (女性)が他の消防団で20年以上活動して その際お誘 ③ その他 年齢が高いので他の方に迷惑に うに頑張ります る可能性が高まるから。 正義感、自分・周りの人を守る

・怪我をしないように頑張ります 消防団として消防の任務に努め です。

うに頑張りたい。

ていきたい

地域のお役に立てるように 微力ながら地域のために活 頑張りたいです。 増△減

港北区内の火災情報 令和2年9月20日現在 **火災発生状況** 年 別 件 数 令和元年 50 24 物 林車 火 0 野 (災種別 両 1 船 舶 O 航 機 Ο そ の 他 25 床 面 積 1,419 損 死 焼 死 0 害 放火自殺 0

傷 7 主な出火原因 令和元年 年 増△減 放 <u>火</u> こ ろ 1 21 たこ 2 ば 5 3 ん 4 4マッチ・ライター5配 線 器 具 3

親交のある人団済みの地域住民 震災発生時に少しでも周囲の力

・学校現場で必要な知識・能力を身

社長

・救命講習を受講したかったから 地域(横浜)についてもっと知りたい、貢

困っている人がいるのに、 献したいと思ったから。 た貴重な経験になると思ったから。 で何も出来ないことが嫌だっ 知識 たから。ま が無いせい

(今後の抱負な تح

入団動機

居住地周囲の人の強い勧め(3人)地域貢献活動の実施(15人)

・様々な活動に積極的に参加したい

・日々勉強、経験を通して頑張り ・身近な人達の命をいざという時 たいです。 と思います。 に守れるよ

ならないよ 3 2 1 転職等による環境の変化 (2人)

保に向けた活動を実施するとともに、消防 団、消防署一丸となって活動を推進してい 各分団、各班におきましては新入団員確

になりたく の方と活動 付けたい。 ・訓練に少しでも多く参加して、 実際に何か起こった時に、動揺せず対応で 年末年始等、可能な限り活動を行いたい。 いと思います できるようにしていきたい。

、活動に参加

## アンケート集計結果

学校での説明 (5人) 親族が現・元消防団員のため(6人)

しとができ

3 2 1

消防団員からの勧め(12人)

# 入団経緯

## 1年間やり遂げたいと思う。 きるようになりた